

市民課天井耐震化工事における審査講評について

西宮市は、市民課天井耐震化工事（以下、「本工事」という。）にかかる、市民課天井耐震化事業者選定委員会（以下、「選定委員会」という。）の審査講評等を公表します。

平成29年11月14日

西宮市長 今村 岳司

市民課天井耐震化工事 提案審査講評

平成 29 年 11 月 14 日
市民課天井耐震化事業者選定委員会

— 目 次 —

1. 選定委員会の審議・審査等の経過	1
2. 審査結果.....	1
3. 落札候補者の市への答申	4
4. 提案に対する評価の概要	5
5. 選定委員会の総評	7

1. 選定委員会の審議・審査等の経過

選定委員会は、本工事の落札候補者を選定するために、選定委員会を2回開催した。

回数	時期	議事
第1回	平成29年5月23日(火)	<ul style="list-style-type: none">・ 委員長選任・ 委員会の進め方・ 工事概要について・ 公告資料について 入札説明書 発注仕様書 落札者決定基準 様式集 工事請負契約書
第2回	平成29年10月5日(木)	<ul style="list-style-type: none">・ 第一次審査結果について・ 基礎審査結果について・ 提案内容の審査・ 落札候補者の選定

2. 審査結果

(1) 入札参加者

本項時における入札参加者は、以下のとおりであった。

提案受付番号	代表企業 (JV形態)	企業名
市民課 2	株式会社 大林組 神戸支店	株式会社 羽衣組

(2) 第一次審査

提案受付番号「市民課 2」の提出した入札参加表明関係書類が、別途定めた入札説明書に示す必要要件を満たしていることを確認した。

(3) 基礎審査

提案受付番号「市民課 2」の提出した技術提案書等が、別途定めた発注仕様書に示す必要要件を満たしていることを確認した。

(4) 加点審査

a) 実績・実施体制に対する評価点の確認

選定委員会は、基礎審査を通過した提案受付番号「市民課 2」の提案審査書類について、予め落札者決定基準で公表された、実績・実施体制に対する評価項目と配点に基づき評価を行い、次のとおり評価点を次頁のとおり付与した。

(選定委員会の実績・実施体制に対する評価点：20点満点)

評価項目		評価の視点	点数	配点	評価点	
業務範囲に関する実績	耐震化天井工事の実績	過去に施工面積 500 m ² 以上の耐震化天井工事の設計業務を自社で行ったことがある	5 件以上	3	3	3
			3～4 件	2		
			1～2 件	1		
	耐震化天井工事の実績	過去に施工面積 500 m ² 以上の耐震化天井工事を元請として行ったことがある	5 件以上	3	3	3
			3～4 件	2		
			2 件	1		
配置技術者に関する実績	管理技術者（設計）の実績	過去に耐震化天井工事の設計実務実績を有している	3 件以上	3	3	2
			2 件	2		
			1 件	1		
	設計担当者の実績	過去に耐震化天井工事の設計実務実績を有している	3 件以上	3	3	1
			2 件	2		
			1 件	1		
	現場代理人の実績	過去に吊足場工事の現場代理人実績を有している	3 件以上	5	5	1
			2 件	3		
			1 件	1		
実施体制		市内企業設計企業が含まれている	3	3	3	
計				20	13	

※実績は、入札公告日から起算して過去 10 年間に履行されたもの（同日において業務期間中であるものを含む）。

※項目に複数該当が有る場合は、配点の高いほうとする。実績評価は JV の構成企業に限る。

b) 技術評価点の審議

選定委員会は、基礎審査を通過した提案受付番号「市民課 2」の提案審査書類について、予め落札者決定基準で公表された、技術提案に対する評価項目と配点に基づき評価を行い、次のとおり評価点を次頁のとおり付与した。

(選定委員会の技術評価点：60点満点)

評価項目	評価のポイント	評価小項目	点数	評価	評価点	
施工方法に関する項目	①足場工事に関する提案 (11点)	ア) 工事の安全性に関する提案がなされている	2	A	2.00	
		イ) 足場工事期間中の施設運営に配慮された提案がなされている	5	B	3.00	
		ウ) 吊足場の提案がなされている	2	B	1.20	
		エ) 吊足場を安全に設置した実績が示されている	2	B	1.20	
	②耐震化天井工事に関する提案 (9点)	ア) 工事対象の現状の性能に配慮された提案がなされている	2	B	1.20	
		イ) 工事対象の耐震性能を向上させる提案がなされている	5	A	5.00	
		ウ) 工事対象の将来的な維持管理を考慮した提案がなされている	2	A	2.00	
	③工事計画に関する提案 (13点)	ア) 対象施設の工事期間、作業可能時間、作業可能日等を十分に理解した工事計画となっている	2	B	1.20	
		イ) 対象施設の事前調査業務について提案がなされている	3	A	3.00	
		ウ) 工事期間中の安全性確保に関する提案がなされている	5	A	5.00	
		エ) 緊急時の連絡体制について提案がなされている	3	B	1.80	
	④工事期間中に配慮すべき事項に関する提案 (12点)	ア) 工事期間中に施設を利用する市民等に配慮された工事計画となっている	5	A	5.00	
		イ) 工事期間中の執務環境に配慮された工事計画となっている	5	A	5.00	
		ウ) 工事期間中の工事従事者動線について提案がなされている	2	B	1.20	
	す 工期項目に 目 関	⑤工期短縮に関する提案 工期遵守に関する提案 (8点)	ア) 工期短縮が図られている	4	A	4.00
			イ) 工種毎に明快な工程計画となっている	2	B	1.20
ウ) 市の別途実施する工事との連携体制について提案がなされている			2	B	1.20	
そ の 他	⑥対象施設に対する提案 (7点)	ア) 提案工法施工後の意匠性について提案がなされている	4	B	2.40	
		イ) 附帯工事について、対象施設の維持管理に関する提案がなされている	3	B	1.80	
計					48.40	

(各審査項目の得点化基準)

評価	評価基準	得点化の方法
A	提案が特に具体的で優れている	点数×1.00
B	提案が具体的で優れている	点数×0.60
C	提案が具体的ではあるが標準的である	点数×0.20
D	提案が具体的ではない	点数×0.00

(5) 入札価格の確認

提案受付番号「市民課 2」の入札価格（消費税及び地方消費税は含まない）は、次に示すとおりであった。選定委員会は、入札価格が市の予定価格以下であることの確認を行った。

(消費税及び地方消費税は含まない)

提案受付番号	入札価格
市民課 2	295,000,000

予定価格：305,000,000

(6) 価格評価点の確認

提案受付番号「市民課 2」の価格評価点は、予め落札者決定基準で公表された、価格評価点の算定式に基づき、次のとおりであった。選定委員会は、価格評価点の算定に誤りがないか確認を行った。

(価格評価点：20点満点)

単位：円（税抜）

予定価格	当該入札価格	配点	価格評価点
305,000,000	295,000,000	20	0.7

(価格評価点の算定式)

価格評価点 = { 1 - (当該入札価格) / (予定価格) } × 20点

※有効桁数は小数点第1位とし、小数点以下第2位は四捨五入する。

(7) 総合評価点の確認及び落札候補者の選定

選定委員会における審査結果は次に示すとおりであり、選定委員会は、規定により提案受付番号「市民課 2」を落札者候補に選定した。なお、加点審査は、入札参加企業の実名及び入札価格を伏せて実施し、審査終了後にすべての実名、入札価格及び総合評価点の確認が行われた。

提案受付番号	①実績・実施体制 に対する評価点	②技術評価点	③価格評価点	④総合評価点	総合評価点 順位
市民課 2	13	48.4	0.7	62.10	1位

①、②：選定委員会の加算点

③価格評価点 = { 1 - (当該入札価格) / (予定価格) } × 20点

※有効桁数は小数点第1位とし、小数点以下第2位は四捨五入する。

3. 落札候補者の市への答申

選定委員会は、落札候補者に提案受付番号「市民課 2」の企業を最も適当な者として選定し、市に答申した。

提案受付番号	企業名
市民課 2	大林・羽衣特定建設工事共同企業体

4. 提案に対する評価の概要

提案に対する選定委員会での評価の概要は次のとおりである。

<提案受付番号「市民課 2」>

【工事の安全性に関する提案について】

- ・システム化されたクイックデッキの採用により、吊り足場の組み立てや解体中の安全性を確保していることが評価できる。

【足場工事期間中の施設運営に配慮された提案について】

- ・上部から吊り下げる形式のため、足場を下から受ける仮設柱が不要で、市民課の運営やレイアウトを変更する必要が無いことや、工事中の仮設照明、仮設煙感知器の設置の提案が評価できる。

【吊足場の提案について】

- ・クイックデッキの提案によって、工期が短縮できるだけでなく、埃の飛散防止等、施設運営にとってもプラスとなっている。

【吊足場を安全に設置した実績について】

- ・提案書に記載のある実績は、本工事の施工面積に対し小さいことが懸念される。
- ・足元の環境等、施工条件が異なるため、5件提示していることは評価できる。

【工事対象の現状の性能に配慮された提案について】

- ・照度の提案について、現状 500[lx]～600[lx]のため、1,000[lx]は明るすぎると感じる。提案では、調光機能がついているため、関係課と調整し適切な照度を設定すればよいと考えるが、市民に対する配慮が必要である。

【工事対象の耐震性能を向上させる提案について】

- ・既存天井より軽量化する提案により、安全性を向上させている。

【工事対象の将来的な維持管理を考慮した提案について】

- ・現在、天井点検口は存在するが、執務エリアをレイアウト変更したために、天井点検口の直下に足場が設置できず、日常的に点検ができない状況にある。本計画では、天井内の点検用小割パネルの設置についての提案により、設備配管等の点検等が可能になることが評価できる。

【対象施設の工事期間、作業可能時間、作業可能日等を十分理解した工事計画について】

- ・すぐに工事に入れるくらい事細かに提案がなされている。
- ・発注仕様書を遵守し、主体工事を終了時間の1時間前に完了させ、その後片付け清掃を実施し、午前6時には執務できる状態を整える計画は評価できる。また、吊り足場内部での低騒音化BOXの使用については、効果の程度がわからない。

【対象施設の事前調査業務の提案について】

- ・維持管理修繕計画書は評価できる。

【工事期間中の安全性確保に関する提案について】

- ・本工事は夜間工事であるため、工事中の安全確保、顔認証システムは評価できる。
- ・顔認証システムの他、警備員も配置しているため、評価できる。

【緊急時の連絡体制について】

- ・緊急時の連絡体制とともに、全社的なバックアップ体制まで示されていることが評価できる。

【工事期間中に施設を利用する市民等に配慮された工事計画について】

- ・埃の飛散防止や、吊足場への進入路は別で確保する等、市民サービス空間への影響を抑える工夫は評価できる。

【工事期間中の執務環境に関する提案について】

- ・照度確保や、現在のレイアウトを極力変更せず工事足場を組むことができる等の工夫や、吊り足場設置期間中の埃飛散防止策の提案は、評価できる。可能であれば、工事の前後の空気中の埃飛散状況を測定できないか。

【工事従事者の動線について】

- ・工事従事者の動線を限定し、外部から市民課まで最短距離で到達でき、庁舎内の他部門への立ち入りを防止する計画は評価できる。

【工期短縮について】

- ・15日でも短縮している点が評価できる。

【工種毎の工程について】

- ・工種毎に調達する資機材のタイミングを工程表に明示しており評価できる。

【市の別途実施する工事との連絡体制について】

- ・別途工事会社との合同朝礼や、吊り足場利用方法の場内ルールの共有化など評価できる。

【提案工法施工後の意匠性について】

- ・レリーフへの配慮は評価できると考える。
- ・化粧材の色が重いように感じる。選定されるようであれば検討いただきたい。

【附带工事に関する、対象施設の維持管理に関する提案について】

- ・LED照明器具調光型の採用や自己点検機能付き非常用照明の採用は評価できる。

5. 選定委員会の総評

本工事は、西宮市庁舎における市民課吹抜部天井の耐震化を行うことを目的に行われるものです。

本工事に対しては、1グループからの提案となりましたが、安全性を確保しつつ、施設運営に配慮した提案をいただきました。

天井の耐震化工事期間中も、工事現場直下の市民課で執務が行われるところに本工事の困難さがあり、技術的にも難易度の高い工事となります。これを解決するため吊り足場の採用が必要となっており、クイックデッキを利用した本提案によって、工期を短縮できるだけでなく、埃の飛散防止等、施設運営にとってもプラスとなることが評価できます。

また、正面玄関前の階段を活用し、吊り足場への動線を確保するなど、施設の特性を踏まえ、よく検討された内容であると評価します。

以上